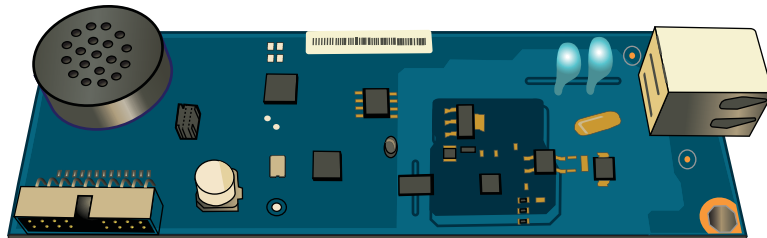




HP MFP Analog Fax Accessory 700

ファックスガイド





HP MFP Analog Fax Accessory 700

ファックスガイド

著作権およびライセンス

© Copyright 2018 HP Development Company, L.P.

事前の書面による許可なく複製、改変、変換することは、著作権法で許可されていない限り禁じられています。

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。

HP の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品またはサービスに付属の明示的な保証条項で規定されます。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

Edition 1, 3/2018

商標について

Adobe®、Adobe Photoshop®、Acrobat®、および PostScript® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Apple および Apple ロゴは、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

OS X は、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

AirPrint は、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

Google™ は、Google Inc. の商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows® XP および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

目次

1 概要	1
はじめに	1
HP MFP Analog Fax Accessory 700 の機能	2
ファックスアクセサリの付属部品	2
2 ファックスアクセサリの取り付け	3
ファックスアクセサリの取り付け	3
電話線へのファックスアクセサリの接続	4
ファクスの動作確認	4
ファームウェアを更新	5
3 ファックスのセットアップ	7
はじめに	7
必須ファックス設定	7
プリンタのコントロールパネルを使用したファックスのセットアップ	7
4 ファックス設定の変更	9
はじめに	9
ファックスダイヤル設定	9
全般的なファックス送信設定	11
ファックス受信設定	13
5 ファックスの送信	17
ファクスの送信	17
補足的なファックスタスク	20
6 ファックスの画像品質の向上	21
7 ファックスに関する問題の解決	23
ファックスの問題を解決するためのチェックリスト	24

一般的なファックスの問題	27
8 仕様	29
ファックス アクセサリ 製品の仕様	29
交換部品とアクセサリ	30
索引	31


1 概要


- [はじめに](#)
- [HP MFP Analog Fax Accessory 700 の機能](#)
- [ファックスアクセサリの付属部品](#)


はじめに


HP MFP Analog Fax Accessory 700 を使用すると、HP の多機能製品 (MFP) をスタンドアロンのアナログファックス機として使用できます。詳細については、www.hp.com/support/mfpfaxaccessory700 を参照してください。

このガイドで使用されているマーク

 **ヒント**：ヒントは、役に立つヒントやショートカットを示します。

 **注記**：注記は、概念の説明やタスクの完了に必要な、重要な情報を示します。

 **注意**：注意は、データの損失やプリンタの損傷を避けるために従う必要がある手順を示しています。

 **警告**！警告は、負傷、壊滅的なデータ損失、またはプリンタへの甚大な損害を回避するために従う必要がある特定の手順に注意を喚起します。

HP MFP Analog Fax Accessory 700 の機能

ファックス送信機能

- 短縮ダイヤル
- ファックスアドレス帳
- 解像度およびイメージ調整オプション
- 請求書コード

ファックス受信機能

- 受信ファックスのスタンプ
- 着信ファックスのブロック
- ファックスポーリング
- 応答するまでの呼び出し回数の調整

拡張ファックス機能

- ファックスのステータスの通知
- JBIG 圧縮
- エラー修正
- ファックスのアーカイブ

リモートでのファックス設定

- 内蔵 Web サーバ
- HP Web Jetadmin
- HP MFP Digital Sending ソフトウェア

セキュリティ機能

- ファックス印刷のスケジュール
 - ファックス印刷とファックス転送の PIN
-

ファックスアクセサリの付属部品

ファックスアクセサリには次の部品が付属しています。



- ファックスアクセサリカード
- 電話線(国/地域によって異なります)

2 ファックス アクセサリの取り付け


- [ファックス アクセサリの取り付け](#)
- [電話線へのファックス アクセサリの接続](#)
- [ファックスの動作確認](#)
- [ファームウェアを更新](#)

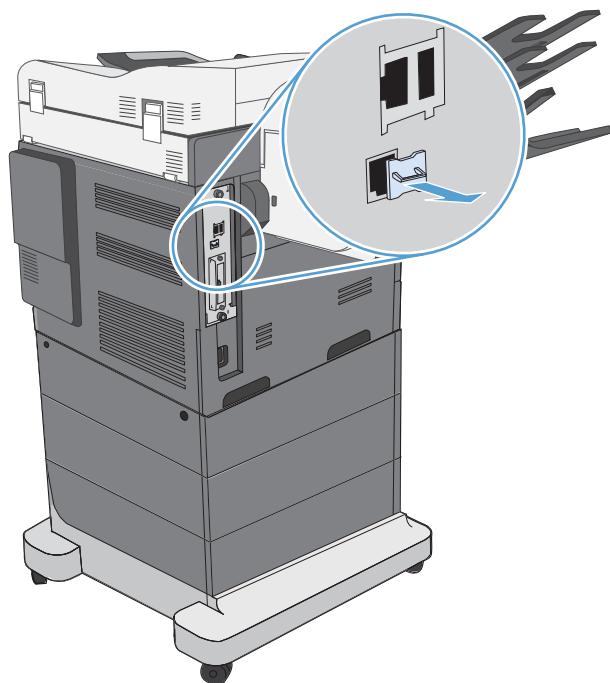
ファックス アクセサリの取り付け

ファックス アクセサリがプリンタにまだインストールされていない場合、ボックスにあるインストールガイドで、プリンタのインストール手順を参照してください。

 **注意:**  インストール中は、静電気に弱い部品に触れる前に必ずプリンタのシャーシ (板金) に触れ、静電放電を行ってください。


製品にファックス アクセサリが取り付けられている場合は、ファックス接続カバーを取り外し、次の手順に進んでファックス アクセサリを電話回線に接続します。ファックス接続カバーは、フォーマッタの背面パネルの電話コネクター上にあります。

 **注記:** 次の画像は、説明の目的でのみ表示されています。フォーマッタの位置と外観はプリンタによって異なります。




電話線へのファックスアクセサリの接続

ファックスアクセサリを電話回線に接続するときはファックスアクセサリ専用の回線に接続し、他の機器とは併用しないでください。また、この電話回線はアナログラインを使用してください。デジタルPBXシステムに接続されると、正しく機能しません。電話回線がアナログかデジタルか不明な場合は、電話会社にお問い合わせください。

 **注記**：アクセサリが正しく機能するように、HP では、ファックスアクセサリに付属の電話コードを使用することをお勧めします。

次の手順に従って、ファックスアクセサリを電話ジャックに接続します。

1. ファックスアクセサリキットに付属している電話コードを探します。電話コードの一方の端をファックスカード上にあるファックスアクセサリの電話ジャックに接続します。カチッと音がするまで押し込みます。

 **注意**：電話回線は必ず、ファックスアクセサリポートに接続します。フォーマッタの下部にあるLANポートには、電話回線を接続しないでください。

2. 電話コードのもう一方の端を壁面の電話差し込み口に接続します。カチッと音がするか、適切に設置されるまで、コネクタを差し込みます。国/地域によってコネクタのタイプは異なるため、コネクタを差し込んでカチッと音がしないことがあります。

ファックスの動作確認


プリンタのコントロールパネルを確認して、ファックスの動作を検証します。

- **FutureSmart 3:** コントロールパネルのファックスアイコンが淡色で表示の場合、ファックスアクセサリがインストールされていないか、設定されていません。アイコンを選択すると、管理者に連絡するよう求めるメッセージが表示されます。
- **FutureSmart 4:** コントロールパネルのファックスアイコンが使用可能です (淡色ではありません)。ファックスアイコンを選択してステータスを確認します。
 - － コントロールパネルにより、設定を求めるプロンプトが表示された場合、ファックスアクセサリはインストールされていますが設定されていません。
 - － コントロールパネルにより、LANまたはインターネット接続の設定を求めるプロンプトが表示された場合、ファックスアクセサリはインストールされていません。

ファームウェアを更新する手順を続行し、ファックスアクセサリをセットアップします。

ファームウェアを更新

ファックスアクセサリを正常に機能させるには、この時点でプリンタのファームウェアを更新することが重要です。hp.com/support にアクセスし、検索ボックスにプリンタのモデル、および「ファームウェアの更新」と入力します。結果のリストから該当するトピックを選択し、表示される説明に従います。

 **注記:** ベストプラクティスとして、お使いのプリンタで利用可能な最新の FutureSmart ファームウェアバージョンにアップグレードすることをお勧めします。以前のプリンタモデルの場合、FutureSmart 3.9 よりも前のバージョンは選択しないでください。より新しいプリンタモデルの場合、FutureSmart 4.6 よりも前のバージョンは選択しないでください。

3 ファックスのセットアップ

はじめに


この情報は、ファックスおよびFlowモデル、またはオプションのアナログファックスアクセサリが取り付けられたその他のプリンタに適用されます。続行する前に、前のセクションの説明にあるように、アクセサリが取り付けられプリンタが電話回線に接続されていることを確認します。


必須ファックス設定

前のセクションでの説明に従ってファックスアクセサリをインストールしたら、次の設定を行う必要があります。


- 日付と時刻
- 国/地域
- ファックスヘッダー(電話番号と会社名)

この情報はファックスヘッダーに使用され、すべての送信ファックスに印刷されます。

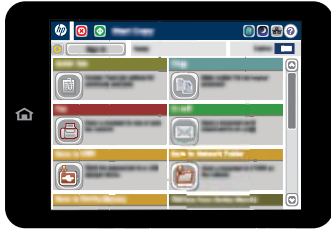
 **注記**：初めてファックスアクセサリを取り付けたときに製品からこうした設定の一部が読み取られて、値が既に設定されている場合があります。値が正しく設定されていることを確認してください。

 **注記**：米国とその他多くの国/地域では、日付、時刻、国/地域、電話番号、および会社名を設定することがファックスの法的な要件になっています。

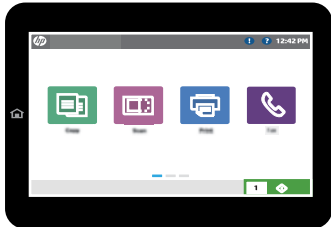
プリンタのコントロールパネルを使用したファックスのセットアップ

 **注記**：手順は、コントロールパネルの種類によって異なります。

FutureSmart 3



FutureSmart 4



FutureSmart 3

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** までスクロールして選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **ファックス設定**
 - **ファックス送信設定**
 - **ファックス送信のセットアップ**
 - **ファックス設定ウィザード**
3. ファックス設定ウィザードの手順を実行して、必要な設定を行います。

FutureSmart 4


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** を選択し、次に **ファックス** を選択します。
2. **内蔵ファックスモデムのセットアップ** で設定済みであることが表示されていることを確認してください。設定されていない場合は、すぐに **内蔵ファックスモデムのセットアップ** を選択して設定値を入力します。
3. 次の各メニュー項目を選択し、画面の右側に表示される設定を完了します。要求された場合は、各設定で **完了** を選択します。
 - **ファックス送信設定**
 - **ファックス受信設定**
 - **ファックス転送**

4 ファックス設定の変更

- [はじめに](#)
- [ファックスダイヤル設定](#)
- [全般的なファックス送信設定](#)
- [ファックス受信設定](#)

はじめに

プリンタのコントロールパネルでは、ファックスの設定を指定できます。コントロールパネルで指定した設定は、HP 内蔵 Web サーバで行った設定よりも優先されます。

 **注記：**手順は、コントロールパネルの種類によって異なります。

FutureSmart
3



FutureSmart
4



ファックスダイヤル設定

FutureSmart 3

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールして選択します。
2. 以下のメニューを開きます。

- ファックス設定
- ファックス送信設定
- ファックス送信のセットアップ
- ファックスダイアル設定

次の項目の値を設定します。

メニュー項目	説明
回線モニタ音量	ファックスの送信時にプリンタのダイヤル音量レベルを設定するには、 回線モニタ音量 設定を使用します。
ダイアルモード	ダイアルモード 設定では、使用するダイヤルタイプをトーン(プッシュホン)またはパルス(ダイヤル式電話)のいずれかに設定します。
ファックス送信速度	<p>ファックスの送信速度 設定では、ファックス送信時のアナログファックスモデムのモデムビットレート(ビット/秒)を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高速 (v.34 - 33.6k) • 標準 (v.17 - 14.4k) • 低速 (v.29 - 9.6k) <p>注記: デフォルト値は標準です。</p>
リダイヤルの間隔	リダイヤル間隔 設定では、ダイヤルした番号が通話中または応答しない場合、またはエラーが発生した場合のリダイヤル間隔を分単位で選択します。
エラー発生時のリダイヤル	エラー発生時のリダイヤル 機能では、ファックス送信中にエラーが発生したときの、ファックス番号のリダイヤル回数を設定します。
通話中の場合のリダイヤル	通話中の場合のリダイヤル 設定では、通話中の場合にファックスアクセサリがリダイヤルを行う回数(0 ~ 9)を選択します。リダイヤルの間隔は[リダイヤルの間隔]設定で設定します。
無応答時のリダイヤル回数	無応答時のリダイヤル回数 設定では、ダイヤルした番号に応答がない場合にファックスアクセサリがリダイヤルを行う回数を選択します。リダイヤルの回数は、国/地域の設定に応じて0 ~ 1(米国で使用)または0 ~ 2のいずれかです。リダイヤルの間隔は[リダイヤルの間隔]設定で設定します。
ダイヤルトーンを検出	ダイヤルトーンを検出 設定では、ファックス送信でダイヤルする前に、ダイヤルトーンを確認するかどうかを決定します。
プレフィックスのダイヤル	ダイヤルプレフィックス 設定では、ダイヤル時の局番(外線発信時の「9」など)を入力できます。ダイヤル時には、この局番がすべての電話番号に自動的に追加されます。

FutureSmart 4

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[設定](#) を選択します。
2. 以下のメニューを開きます。

- ファクス
- ファックス送信設定
- ファックスダイヤル設定

次の項目の値を設定します。終了したら、**完了**を選択します。

メニュー項目	説明
エラー時のリダイヤル	エラー発生時のリダイヤル機能では、ファックス送信中にエラーが発生したときの、ファックス番号のリダイヤル回数を設定します。
応答がない場合のリダイヤル	無応答時のリダイヤル回数設定では、ダイヤルした番号に応答がない場合にファックスアクセサリがリダイヤルを行う回数を選択します。リダイヤルの回数は、場所の設定に応じて0~1(米国で使用)または0~2のいずれかです。リダイヤルの間隔は[リダイヤルの間隔]設定で設定します。
通話中の場合のリダイヤル	通話中の場合のリダイヤル設定では、通話中の場合にファックスアクセサリがリダイヤルを行う回数(0~9)を選択します。リダイヤルの間隔は[リダイヤルの間隔]設定で設定します。
リダイヤルの間隔	リダイヤル間隔設定では、ダイヤルした番号が通話中または応答しない場合、またはエラーが発生した場合のリダイヤル間隔を分単位で選択します。
ファックス送信速度	ファックスの送信速度設定では、ファックス送信時のアナログファックスモデムのモデムビットレート(ビット/秒)を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 高速 (v.34 - 33.6k) • 標準 (v.17 - 14.4k) • 低速 (v.29 - 9.6k) 注記: デフォルト値は標準です。
回線モニタ音量	ファックスの送信時にプリンタのダイヤル音量レベルを設定するには、回線モニタ音量設定を使用します。
ダイヤルモード	ダイヤルモード設定では、使用するダイヤルタイプをトーン(プッシュホン)またはパルス(ダイヤル式電話)のいずれかに設定します。
プレフィックスのダイヤル	ダイヤルプレフィックス設定では、ダイヤル時の局番(外線発信時の「9」など)を入力できます。ダイヤル時には、この局番がすべての電話番号に自動的に追加されます。
ダイヤルトーンを検出	ダイヤルトーンを検出設定では、ファックス送信でダイヤルする前にダイヤルトーンを確認するかどうかを決定します。

一般的なファックス送信設定

FutureSmart 3

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールして選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定

- ファックス送信のセットアップ
- 一般的なファックス送信設定

次の項目の値を設定します。

メニュー項目	説明
ファックス番号の確認	ファックス番号の確認 機能が有効になっている場合、正しく入力されているかどうかを確認するために、ファックス番号を2回入力する必要があります。この機能は、デフォルトで無効です。
PC ファックス送信	PC からファックスを送信するには、 PC ファックス送信 機能を使用します。この機能は、デフォルトで有効になっています。
ファックスヘッダ	ファックスヘッダ 機能を使用して、先頭にヘッダを付加して内容を下に下げるか、前のヘッダにヘッダをオーバーレイするかを設定します。
JBIG 圧縮	JBIG 圧縮 機能を有効にすると、ファックスの伝送時間を短縮して電話料金を削減できるので便利です。ただし、 JBIG 圧縮 機能を使用すると、旧式のファックス装置と通信するときに互換性の問題が発生する場合があります。このような場合は無効にする必要があります。 注記： JBIG 圧縮 機能を使用できるのは、送信側と受信側の両方がこの機能に対応している場合に限られます。
エラー修正モード	通常、ファックスアクセサリではファックスの送受信中に電話線のデータが監視されます。 エラー修正モード 設定がオンになっている場合にファックスアクセサリによって伝送時のエラーが検出されると、ファックスのエラー箇所の再送信が要求されます。 デフォルトでは、 エラー修正モード 機能が有効になっています。ファックスの送受信に問題がある場合と、伝送時のエラーや予想される画質品質の低下を許容する場合にのみオフにします。海外とファックスを送受信する場合や、衛星電話を接続している場合は、この設定をオフにすると便利です。 注記： 一部の VoIP プロバイダは、 エラー修正モード 設定を無効に設定するように推奨しています。しかし、通常、この操作は不要です。
短縮ダイヤルに一致したファックス番号	短縮ダイヤルに一致したファックス番号 を有効にすると、ファックスのダイヤル時に役立ちます。 ファックス番号を手動でダイヤルした際、保存されている短縮ダイヤルエンTRIESに、入力した番号に一致する番号がないか確認されます。これにより、ダイヤル処理の速度が向上し、指定したファックス番号の短縮ダイヤルエンTRIES番号を覚えていない場合に役立ちます。 手動で入力したファックス番号に一致する短縮ダイヤルエンTRIESが見つかった場合、 はい を選択してその番号にファックスを送信するか、その番号をファックス配信リストに追加することができます。

FutureSmart 4

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** を選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **ファクス**
 - **ファックス送信設定**
 - **一般的なファックス送信設定**

次の項目の値を設定します。終了したら、完了を選択します。

メニュー項目	説明
ファックス番号の確認	ファックス番号の確認 機能が有効になっている場合、正しく入力されているかどうかを確認するために、ファックス番号を2回入力する必要があります。この機能は、デフォルトで無効です。
PCファックス送信	PCからファックスを送信するには、 PCファックス送信 機能を使用します。この機能は、デフォルトで有効になっています。
エラー修正モード	通常、ファックスアクセサリではファックスの送受信中に電話線のデータが監視されます。 エラー修正モード 設定がオンになっている場合にファックスアクセサリによって伝送時のエラーが検出されると、ファックスのエラー箇所の再送信が要求されます。 デフォルトでは、 エラー修正モード 機能が有効になっています。ファックスの送受信に問題がある場合と、伝送時のエラーや予想される画質品質の低下を許容する場合にのみオフにします。海外とファックスを送受信する場合や、衛星電話を接続している場合は、この設定をオフにすると便利です。 注記： 一部のVoIPプロバイダは、 エラー修正モード 設定を無効に設定するように推奨しています。しかし、通常、この操作は不要です。
ファックスヘッダ	ファックスヘッダ 機能を使用して、先頭にヘッダを付加して内容を下に下げるか、前のヘッダにヘッダをオーバーレイするかを設定します。

ファックス受信設定

FutureSmart 3

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**管理** ボタンまでスクロールして選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **ファックス設定**
 - **ファックス受信設定**
 - **ファックス受信のセットアップ**

次の項目の値を設定します。

メニュー項目	説明
呼び出し音量	呼び出し音量 ドロップダウン メニューを選択して、呼び出し音量の設定を調整します。
応答するまでの呼び出し回数	応答するまでの呼び出し回数 設定では、ファックスアクセサリが応答するまでに呼び出し音が鳴る回数を決定します。 注記： 応答するまでの呼び出し回数 設定で選択可能なオプションのデフォルト範囲は、国/地域によって異なります。可能な 応答するまでの呼び出し回数 オプションの範囲は、国/地域によって制限されます。 ファックスアクセサリの応答で問題が発生しており、 応答するまでの呼び出し回数 が1に設定されている場合は、2の設定を試してください。

メニュー項目	説明
ファックス受信速度	<p>ファックスの受信速度 ドロップダウン メニューを選択して、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高速 (v.34 - 33.6k) • 標準 (v.17 - 14.4k) • 低速 (v.29 - 9.6k) <p>注記: デフォルト値は標準です。</p>
呼び出し間隔 ¹	<p>呼び出し間隔 見出しの下のボックスを選択して、キーパッドを開きます。キーパッドで呼び出し間隔の値を入力し、OK ボタンを選択します。呼び出し間隔のデフォルト設定は 600 ms です。</p>
呼び出し周波数 ²	<p>呼び出し回数 見出しの下のボックスを選択して、キーパッドを開きます。キーパッドで呼び出し回数の値を入力し、OK ボタンを選択します。呼出し音の周波数のデフォルト設定は 68 Hz です。これにより、最大 68 Hz の呼出し音を検出できます。</p>

¹ 呼び出し間隔は出荷時の設定です。この設定を変更すると、規制および呼び出し検出のパフォーマンスが影響を受ける可能性があります。

² 呼び出し周波数を変更する場合は注意が必要です。デフォルト値を変更すると、一部の呼び出し検出機能が無効になる可能性があります。

FutureSmart 4

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** を選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **ファクス**
 - **ファックス受信設定**
 - **ファックス受信のセットアップ**

次の項目の値を設定します。終了したら、**完了** を選択します。


メニュー項目	説明
応答するまでの呼び出し回数	<p>応答するまでの呼び出し回数 設定では、ファックス アクセサリが応答するまでに呼び出し音が鳴る回数を決定します。</p> <p>注記: 応答するまでの呼び出し回数 設定で選択可能なオプションのデフォルト範囲は、場所によって異なります。対応する 応答するまでの呼び出し回数 オプションの範囲は、場所によって制限されます。</p> <p>ファックス アクセサリが応答せず、応答するまでの呼び出し回数 が 1 に設定されている場合は、2 の設定を試してください。</p>

メニュー項目	説明
呼び出し音量	呼び出し音量 ドロップダウン メニューを選択して、呼び出し音量の設定を調整します。
ファックス受信速度	ファックスの受信速度 ドロップダウン メニューを選択して、次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none">● 高速 (v.34 - 33.6k)● 標準 (v.17 - 14.4k)● 低速 (v.29 - 9.6k) 注記 : デフォルト値は標準です。

5 ファックスの送信

- [ファックスの送信](#)
- [補足的なファックスタスク](#)

ファックスの送信

 **注記**：手順は、コントロールパネルの種類によって異なります。

FutureSmart
3



FutureSmart
4






FutureSmart 3

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[ファックス](#) ボタンを選択します。
3. 次のいずれかの方法で受信者を指定します。

手動で受信者を入力

- ▲ [ファックス番号](#) フィールドを選択してキーパッドを開き、ファックス番号を入力して、[OK](#) ボタンを選択します。

連絡先リストから受信者を入力

- a. ファックス番号 フィールドの横にある [連絡先]  ボタンを選択して、連絡先 画面を開きます。
 - b. ドロップダウン リストで、適切な連絡先リストを選択します。
 - c. 連絡先のリストで名前を選択して、その名前を受信者リストに追加します。受信者ごとにこの手順を実行した後、OK ボタンを選択します。
4. 文書の設定を行うには、その他のオプション ボタンを選択します。たとえば、
 - ファックスの解像度を指定するには、[解像度] を選択します。
 - 原稿が両面に印刷されている場合は、[片面原稿/両面原稿] を選択し、[両面] を選択します。
 5. 文書をプレビューするには、[プレビュー]  ボタンを選択します。
 6. 文書の準備が整ったら、[スタート]  ボタンをタッチしてファックスを送信します。


FutureSmart 4

1. 文書を下向きにしてスキャナガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、ファックス を選択します。ユーザー名とパスワードの入力が要求されることがあります。





3. 次のいずれかの方法で受信者を指定します。

手動で受信者を入力

- ▲ **ファックス宛先** テキスト フィールドをタッチし、キーパッドを使用してファックス番号を入力します。複数のファックス番号に送信する場合は、番号間をセミコロンで区切るか、各番号の入力後にタッチスクリーン キーボードの Enter  ボタンを選択します。

連絡先リストから受信者を入力

- a. **ファックス宛先** フィールドの横にある連絡先  ボタンを選択して、連絡先 画面を開きます。
 - b. 適切な連絡先リストを選択します。
 - c. 連絡先のリストで名前を選択して、その名前を受信者リストに追加し、追加 を選択します。
4. クイックセットをロードするには、ロード、[クイックセット] の順に選択し、クイックセット リストで、ロード を選択します。

 **注記** : クイックセットは、テキスト、写真、高品質 などさまざまな出力タイプに応じた事前定義された設定です。クイックセットを選択すると説明を表示できます。

5. 解像度、面、内容の向きなどの設定を指定するには、左下隅で **オプション** を選択し、**オプション** メニューから設定を選択します。要求された場合は、**完了** を選択します。
6. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある **展開** および **折り畳み** ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

展開 ボタン



折り畳み ボタン



画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。



選択したページをズームインまたはズームアウトします。

注記：これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。



ページを 180°回転します。

注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



選択したページを削除します。

注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書内でページの順序を変更します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。

注記：これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。





文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。



プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

7. 文書の準備が整ったら、**送信** を選択してファックスを送信します。

補足的なファックスタスク

www.hp.com/support/mfpfaxaccessory700 を参照してください。

以下のようなファックスタスクの実行手順を参照できます。

- ファックス短縮ダイアルの作成と管理
- ファックス請求書コードの設定
- ファックス印刷スケジュールの使用
- 着信ファックスのブロック
- ファックスアーカイブおよび転送

6 ファックスの画像品質の向上

プリンタのファックス品質に問題がある場合は、HPのWebサイトでトラブルシューティングの手順をご覧ください。www.hp.com/support/mfpfaxaccessory700 にアクセスします。

7 ファックスに関する問題の解決

- [ファックスの問題を解決するためのチェックリスト](#)
 - [どのような種類の電話回線を使用していますか？](#)
 - [サージ保護装置を使用していますか？](#)
 - [電話会社が提供する音声メッセージサービスまたは留守番電話を使用していますか？](#)
 - [電話回線に割り込み通話機能はありますか？](#)
 - [ファクスアクセサリのステータスの確認](#)
- [一般的なファックスの問題](#)
 - [ファックスを送信できない](#)
 - [プリンタのコントロールパネルに\[メモリ不足です\]というステータスメッセージが表示される](#)
 - [写真の印刷品質が低いか、グレーのボックスとして印刷される](#)
 - [停止ボタンを選択してファックスをキャンセルしたが、ファックスが送信された](#)
 - [ファックスアドレス帳ボタンが表示されない](#)
 - [HP Web Jetadmin のファックス設定が見つからない](#)
 - [オーバーレイを有効にしても、ヘッダがページ上部に付加される](#)
 - [受信者ボックスに名前と番号が混在している](#)
 - [1ページのファックスが2ページにわたって印刷される](#)
 - [ファックスの途中で文書フィーダにある文書が止まる](#)
 - [ファクスアクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる](#)

ファックスの問題を解決するためのチェックリスト

次のチェックリストを使用して、ファックスに関する問題の発生原因を突き止めてください。

 **注記：**手順は、コントロールパネルの種類によって異なります。


FutureSmart
3



FutureSmart
4




- ファックスアクセサリに付属のファックスケーブルを使用していますか？ このファックスアクセサリは、付属のファックスケーブルを使用してRJ11仕様および機能仕様への準拠がテストされています。付属のファックスケーブルを別のファックスケーブルに交換しないでください。アナログファックスアクセサリには、アナログファックスケーブルが必要です。また、アナログの電話接続も必要です。
- ファックス/電話線コネクタがファックスアクセサリの差し込み口に接続されていますか？ 電話ジャックが差し込み口にしっかりと接続されていることを確認してください。コネクタをコンセントに差し込むか、しっかりと差し込まれているか確認します。

 **注記：**フォンジャックがネットワークポートではなくファックスポートに接続されていることを確認してください。これらのポートは類似しています。

- 壁の電話ジャックは正常に機能していますか？ 壁のジャックに電話を接続して、ダイアルトーンが聞こえることを確認してください。ダイアルトーンが聞こえて、電話をかけたか受けたりできますか？

どのような種類の電話回線を使用していますか？

- **専用回線：**ファックスの送受信用に標準的なファックス/電話回線が割り当てられています。

 **注記：**電話回線はプリンタファックス専用とし、他の種類の電話装置と共有しないでください。たとえば、警備会社への通知に電話回線を使う警報システムなどとの回線の共有は避けます。

- **PBXシステム：**ビジネス環境の電話システム。標準的な家庭用電話とファックスアクセサリではアナログ電話信号を使用します。一部のPBXシステムはデジタルであるため、ファックスアクセサリと互換性がない場合があります。ファックス機をデジタルPBXシステムに接続するには、インタフェースのアナログ電話アダプタ (ATA) が必要になる場合があります。
- **ロールオーバー回線：**最初に着信する回線が通話中の場合に、新たにかかってきた電話を次の使用可能な回線に「ロールオーバー」する電話システム機能。最初に着信する電話回線にプリンタ

を接続してください。ファックスアクセサリは、応答するまでの呼び出し回数設定で設定されている回数だけ呼び出し音が鳴った後に電話に応答します。

サージ保護装置を使用していますか？

壁のジャックとファックスアクセサリ間でサージ保護装置を使用すると、電話線を通る電気サージからファックスアクセサリを保護できます。このような装置が原因となって電話信号の品質が低下し、ファックス通信に問題が発生する場合があります。ファックスの送受信に問題があり、このような装置を使用している場合は、壁の電話ジャックにプリンタを直接接続して、問題の原因がサージ保護装置であるかどうかを確認してください。

電話会社が提供する音声メッセージサービスまたは留守番電話を使用していますか？

メッセージサービスの呼び出し回数設定がファックスアクセサリの呼び出し回数設定よりも少ない場合は、メッセージサービスが呼び出しに応答するため、ファックスアクセサリでファックスを受信できません。ファックスアクセサリの呼び出し回数設定がメッセージサービスの呼び出し回数設定よりも少ない場合は、ファックスアクセサリですべての呼び出しに応答します。

電話回線に割り込み通話機能はありますか？

ファックス電話回線で割り込み通話機能がアクティブになっていると、割り込み通知によって進行中のファックスコールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブではないことを確認してください。


ファックスアクセサリのステータスの確認

アナログファックスアクセサリが機能していないと思われる場合は、[設定ページ](#) レポートを印刷してステータスを確認します。

1. [レポート](#) 機能にアクセスします。
 - **FutureSmart 3:** プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[管理](#) までスクロールして選択します。
 - **FutureSmart 4:** ホーム画面で、[レポート](#) までスクロールして選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [設定/ステータスページ](#)
 - [設定ページ](#)
3. [印刷](#) ボタンをタッチしてレポートを印刷するか、[表示](#) ボタンをタッチしてレポートを画面に表示します。レポートは、数ページで構成されています。

 **注記:** プリンタの IP アドレスまたはホスト名は、Jetdirect ページに記載されています。

設定ページのファックスアクセサリ ページで、[ハードウェア情報] という見出しの下にある [モデムステータス] を確認します。次の表は、そのステータスと考えられる解決策を示しています。


 **注記:** ファックスアクセサリ ページが印刷されない場合は、アナログファックスアクセサリに問題がある可能性があります。LAN ファックスまたはインターネット ファックスを使用している場合には、それらの設定によって機能が無効になっている可能性があります。

動作中/使用可能 ¹	アナログファックスアクセサリはインストールされ、作動可能です。
動作中/使用不可 ¹	<p>ファックスアクセサリは取り付けられていますが、必要なファックス設定がまだ指定されていません。</p> <p>ファックスアクセサリが取り付けられており、動作していますが、HP Digital Sending ユーティリティによってプリンタのファックス機能が無効になっているか、LAN ファックスが有効になっています。LAN ファックスが有効になっている場合、アナログファックス機能は無効です。LAN ファックスとアナログファックスのどちらかのファックス機能のみを有効にすることができません。</p> <p>注記：LAN ファックスが有効になっていると、プリンタのコントロールパネルの ファックス 機能を利用できません。</p>
停止中/使用可能/使用不可 ¹	ファームウェアの障害が検出されました。ファームウェアをアップグレードします。
破損/使用可能/使用不可 ¹	ファックスアクセサリでエラーが発生しました。ファックスアクセサリカードを再度取り付けて、ピンが曲がっていないか確認します。ステータスが「破損」のままである場合は、アナログファックスアクセサリカードを交換してください。

¹ 「使用可能」は、アナログファックスアクセサリが使用可能でオンの状態であることを示します。「使用不可」は、LAN ファックスが使用可能であることを示します (アナログファックスはオフ)。

一般的なファックスの問題

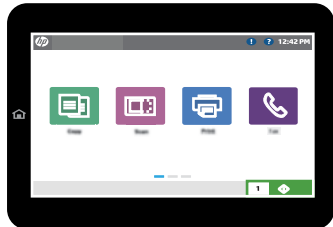
ファックスに関する一般的な問題の一部を以下に示します。

 **注記**：手順は、コントロールパネルの種類によって異なります。

FutureSmart
3



FutureSmart
4



ファックスを送信できない

JBIG が有効になっていますが、受信ファックス機に JBIG 機能がありません。

[JBIG] 設定をオフにします。


プリンタのコントロールパネルに[メモリ不足です]というステータスメッセージが表示される

プリンタのストレージディスクが満杯になっています。ディスクから保存ジョブをいくつか削除します。

FutureSmart 3

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**デバイスメモリから取得** ボタンまでスクロールして選択します。
2. 文書が保存されているフォルダを選択し、文書を選択します。
3. 文書がプライベートの場合は、**パスワード**：フィールドに4桁のPINを入力し、**OK**を選択します。
4. **削除** ボタンを選択します。

FutureSmart 4

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**印刷** を選択し、次に **ジョブ保存から印刷** を選択します。
2. **ジョブフォルダ** リストから、文書が保存されているフォルダを選択し、文書を選択します。
3. 削除アイコン  を選択します。

写真の印刷品質が低いか、グレーのボックスとして印刷される

間違ったページコンテンツ設定または解像度設定を使用しています。

テキスト/画像の最適化 オプションを **フォト** に設定して試してください。

停止ボタンを選択してファックスをキャンセルしたが、ファックスが送信された

送信プロセスのジョブが長すぎると、ジョブをキャンセルできません。

これは正常な動作です。

ファックスアドレス帳ボタンが表示されない

ファックスアドレス帳機能が有効になっていません。

HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティを使用して、ファックスアドレス帳機能を有効にします。

HP Web Jetadmin のファックス設定が見つからない

HP Web Jetadmin のファックス設定はデバイスのステータス ページのドロップダウン メニューにあります。

ドロップダウン メニューから **[デジタル送信とファックス]** を選択します。

オーバーレイを有効にしても、ヘッダがページ上部に付加される

すべての転送されるファックスのページ上部にオーバーレイヘッダが付加されます。

これは正常な動作です。

受信者ボックスに名前と番号が混在している

ソースデータに応じて、名前と数字の両方が表示される場合があります。ファックスアドレス帳は名前を示し、他のすべてのデータベースは数字を示します。

これは正常な動作です。

1 ページのファックスが2 ページにわたって印刷される

ファックスヘッダがファックスの上部に付加されると、テキストが2 ページ目に押し出されます。

1 ページのファックスを1 ページに印刷するには、オーバーレイヘッダをオーバーレイモードに設定するか、用紙の大きさに合わせる設定を調整します。

ファックスの途中で文書フィーダにある文書が止まる

文書フィーダで紙詰まりしています。

詰まった紙を取り除いてから、もう一度ファックスします。

ファックスアクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる

音量設定を調整する必要があります。

ファックスの送信設定メニューおよびファックスの受信設定メニューで音量を調整します。

8 仕様

- [ファックスアクセサリ製品の仕様](#)
- [交換部品とアクセサリ](#)

ファックスアクセサリ製品の仕様

環境仕様	
動作環境	<ul style="list-style-type: none">• 温度：10 ~ 32.5°C (50 ~ 91°F)• 相対湿度：20 ~ 80% (結露しないこと)
保管環境	<ul style="list-style-type: none">• 温度：-20 ~ 40°C (-4 ~ 104°F)• 相対湿度：95% 未満 (結露しないこと)
ファックス仕様	
ファックス互換性	<ul style="list-style-type: none">• CCITT/ITU Group 3、EIA/TIA Class 1、Class 2.1
電話コネクタ	<ul style="list-style-type: none">• RJ11
圧縮方法	<ul style="list-style-type: none">• MH、MR、MMR、および JBIG

サポートされている伝送速度および規格	<ul style="list-style-type: none"> ● V.17 (14,400、12,000、9,600、7,200bps) ● V.33 (14,400、12,000bps) ● V.29 (9,600、7,200bps) ● V.27 (4,800、2,400bps) ● V.34 (33,600、31,200、28,800、26,400、24,000、21,600、19,200、16,800 bps)
モデム速度	<ul style="list-style-type: none"> ● 最高 33.6 Kbps
短縮ダイヤル	<ul style="list-style-type: none"> ● はい
ファックス解像度 (送信および受信)	<ul style="list-style-type: none"> ● 標準 - 200 × 100 dpi ● 高画質 - 200 × 200 dpi ● 最高画質 - 300 × 300 dpi ● 超高画質 - 200 × 400 (受信のみ) ● 超高画質 - 400 × 400 (受信のみ)

交換部品とアクセサリ

HP 純正の部品やアクセサリの注文	www.hp.com/buy/parts
サービス代理店経由の注文	HP の正規サービス代理店問い合わせてください。

索引

あ

アクセサリ 30

き

機能、説明 2

け

警告 1

こ

交換部品 30

す

ステータス、ファックスアクセサリ ページ 25

た

ダイヤル設定 9

ち

注意 1

注記 1

ひ

ヒント 1

ふ

ファームウェアアップデート 5

ファックスアクセサリの取り付け 3

ファックスの送信 17

ファックスの動作確認 4

ファックス

 セットアップ 7

 必須設定 7

部品 2

ま

マニュアルのマーク 1

マーク、マニュアル 1

も

モデム速度 29

ん

画像品質 21

解像度 29

環境仕様 29

仕様 29

取り付け 3

受信設定 13

静電放電 3

設定

 ダイヤル設定 9

 ファックスダイヤル 9

 ファックス受信 13

 ファックス受信設定 9

 全般的なファックス送信設定 9

 全般的なファックス送信 11

 必須 7

送信設定 11

電話回線の接続 4

電話回線、ファックスアクセサリの接続 4

電話線へのファックスアクセサリの接続 4

必須設定

 国/地域 7

品質 21

保管、環境 29

未設定 7

問題

 チェックリスト 24

 解決 23

 全般 27

